

「憧れはあるけど、ピアノってなんとなく敷居が高い」

「知らない曲ばかりなのはちょっと…」

そんなお声に答えて、実現いたしました!

誰もが必ずどこかで聴いたことのある旋律ばかりを集めた、究極の名曲プログラム!

このコンサート、何も難しいことはありません。月明りが照らす湖の上の小舟の揺らぎとも言われる、ベートーヴェンの美しい「月光ソナタ」に酔いしれ、胸いっぱい愛が詰まったリストの「愛の夢第3番」に心打たれ、華麗にして超絶なショパンの調べを楽しみ、ドビュッシーやスクリャービンの幻想的な世界に身をゆだね、最後はベートーヴェンの「熱情ソナタ」で、吹き荒れる情熱の嵐に圧倒される!

熱き魂を持つピアニスト・及川浩治が、ピアノ愛好家の方にも初心者の方にも分け隔てなく、名曲の素晴らしさをお伝えいたします。

「一度は聴いてみたかったクラシック・コンサート」
「ピアノ・リサイタル、いつか行ってみたかった」その願いを叶えるのにうってつけの名曲コンサート決定版、お楽しみに。

誰もがどこかで聴いた旋律ばかり
情熱のピアニスト・及川浩治が贈る、
究極の名曲プログラム

《及川浩治が贈るピアノ名曲選》

及川浩治(ピアノ) Koji Oikawa (Piano)

4才からピアノを始める。1984年ヴィオッティ・ヴァルセイジア国際音楽コンクールで第1位受賞。1985年、国立音楽大学に入学。翌1986年にブルガリア国立ソフィア音楽院に留学。1987年にアレクシス・ワイセンベルクの公開セミナーに参加し、ワイセンベルク本人の意向により設けられた最優秀特別賞を受賞、練習用のグランドピアノを授与された。1990年にマルサラ国際音楽コンクールにおいて第1位受賞。また同年、第12回ショパン国際ピアノコンクールにおいて最優秀演奏賞(Honourable mention)を受賞。1992年、日本国際音楽コンクールにおいて第2位を受賞している。

1995年にサントリーホールにてデビュー・リサイタルを行い、同年ラムレー管弦楽団定期演奏会(佐渡裕指揮、サル・プレイエル)に招かれバリ・デビューを飾る。1997年よりミュージック・シェアリング(旧みどり教育財団)による「レクチャー・コンサート」でヴァイオリニスト五嶋みどりと全国各地の小学校、養護学校などで演奏。1998年、札幌PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)に出演。1999年のショパン没後150年には、「ショパンの旅」というタイトルのコンサート・ツアーを行ない3万5千人をも動員するショパン・イヤー最大規模のイベントとなった。2002年6月ワイマール州立歌劇場管弦楽団の日本ツアーソリスト、2003年7月にはPMFオーケストラのソリストとして、2004年には佐渡裕ヤング・ピープルズ・コンサートのゲストとして、全国

各地で演奏。2005年サントリーホールで行なわれた「デビュー10周年記念コンサート」は満席となり大成功を収め、2008年～2011年には東京・大阪での同時プロジェクト「及川浩治10大協奏曲シリーズ」に取り組むなど人気・実力共に日本を代表するピアニストである。2015年2月にはテレビ朝日系列「題名のない音楽会」に出演し、ラフマニョフ「ピアノ協奏曲第3番」の熱演がオンエアされた。

国内主要オーケストラとの共演も数多く、2013年モスクワ・フィルハーモニー交響楽団、2014年ベルリン交響楽団、2015年ロシア国立交響楽団の各来日公演にてソリストとしてピアノ協奏曲を共演。2015年11月にはブルガリアにてソフィア・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会に出演した。

ダイナミックな中に繊細さをも併せ持ち、内面にダイレクトに訴えかける及川の演奏は多くの絶賛の声とともに幅広い層の共感を得ている。児玉邦夫・幸子、吉本美南子、コンスタンティン・ガネフ、ジュリア・ガネヴァ、ジャン＝マルク・ルイサダの各氏に師事。現在、宮城学院女子大学音楽科特任教授。

CDはショパン、ベートーヴェン、リスト、ラフマニョフなどの作品集をリリースし、いずれも高い評価を受けており、『ベートーヴェン: 悲愴、熱情、ワルトシュタイン』と『ショパン: パラード』は「レコード芸術」誌特選盤に選出されている。

©及川浩治オフィシャルサイト <https://koji-oikawa.com>